

ボランティアを通じて

(ニューズレター発送ボランティア)

会社員 吉田 一仁

朝日が昇るのもゆっくりになり、年の瀬もいよいよ差し迫った、師走の日曜。朝ごはんもほどほどにいそいそと飛び出した私は日韓アジア基金のボランティアに参加するべく千石駅に向かった。

普段は電話でブロードバンド回線の営業をしているが、色々な人と接するのが好きなこともあり、時間がある週末にはボランティア募集をしている団体に訪ねて行って、仕事を手伝うがてら、他の参加者やその団体のスタッフの方と会話をしながら見聞を広めているのだった。

本日伺った日韓アジア基金でも、ボランティアの募集をしているのを聞き、早速応募して伺ったのだが、これがよく段取りされていて、作業に徹底できるように、ボランティアの面々が手持無沙汰にならないように仕事をうまく割り振りをしていただけた。

日韓アジア基金のボランティアの参加者は様々で、中高生、大学生、フリーターから会社員、主婦やシルバー世代まで幅広く、それぞれがそれぞれの目的をもって参加しているようだった。

本日の作業の内容はニューズレター資料の発送準備だった。作業としては単純でわかりやすく、ボランティアが初めて。という方でも、特別問題なく作業できた。

スタッフの方々がすごく暖かい空気を作ってくれ、はじめは初対面同士で若干緊張気味だった参加者のそれぞれの表情が次第に柔らかくなっていくのが分かった。

作業としては3時間もあれば終わり、近くのイタリア料理店で希望者でそろって昼食をとった。それぞれの好きなものや仕事の話、今勉強していることや関心があることなど、ゆっくり食事しながらお互いのことを話す。

残念ながら今日しか会わないかもしれない方や、今後何かのご縁でつながっていく方もいるだろう。そういう風に思いながらひとつひとつの瞬間を楽しむのが私は大好きだ。

本日の参加者の中にも繰り返し参加されている方もいるようで、なるほど居心地のいい場所なのである。また日韓アジア基金のボランティアとして参加したいと思った。

12月の20日にも年に何度か開催される「ビビン(韓国語で混ぜる)の会」という日韓アジア基金主催のイベントもあるようで、毎回何十人という規模で開催される交流会のようだ。

今回は仕事の都合で私個人は参加できないが、ボランティア以外にもビビンの会等、複数のイベントも行っているようなので、またHPなどを確認してぜひ伺わせてほしいと思う。

本日は有意義な時間を本当にありがとうございました。

